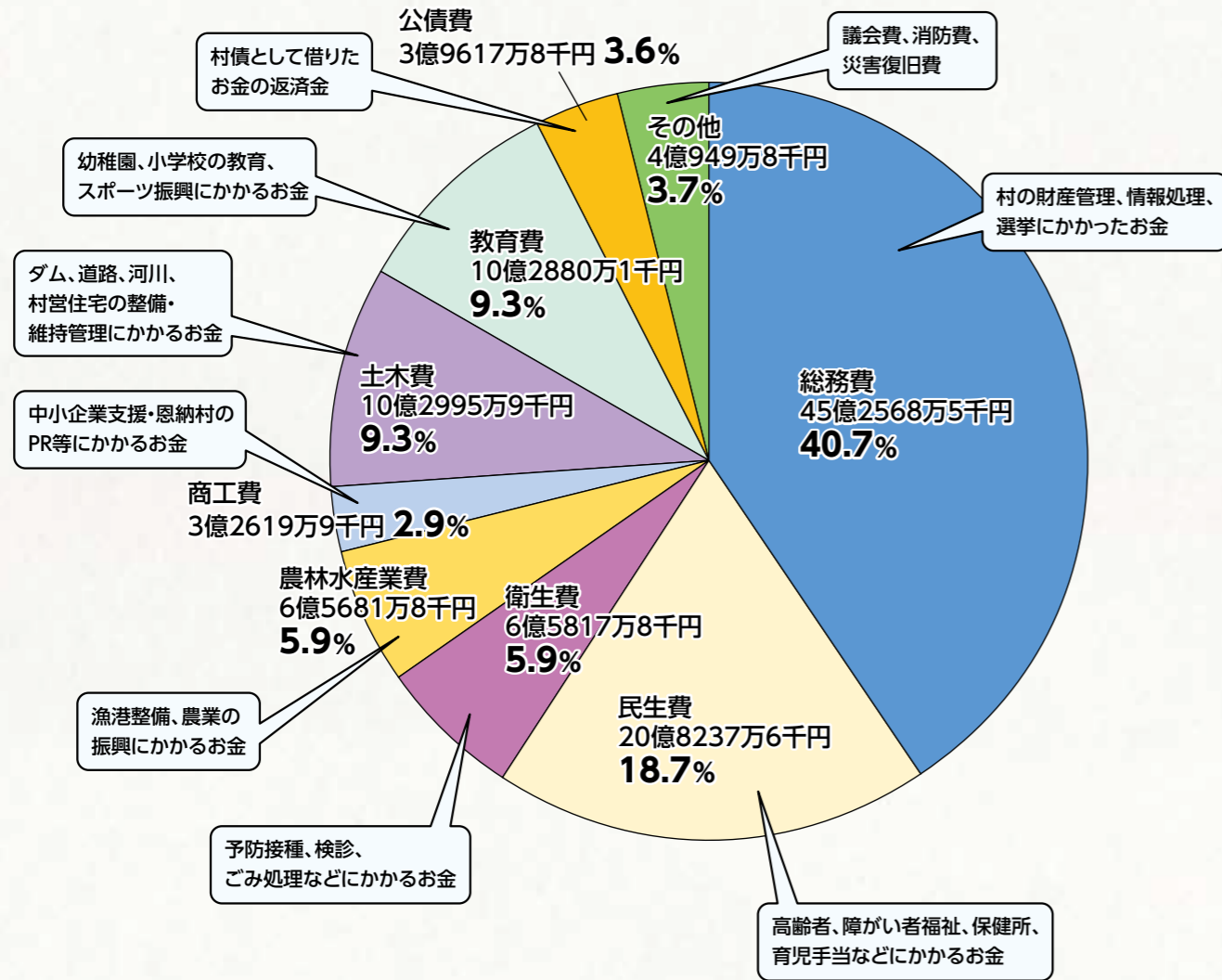


決算 どう使った111億1369万円 認定

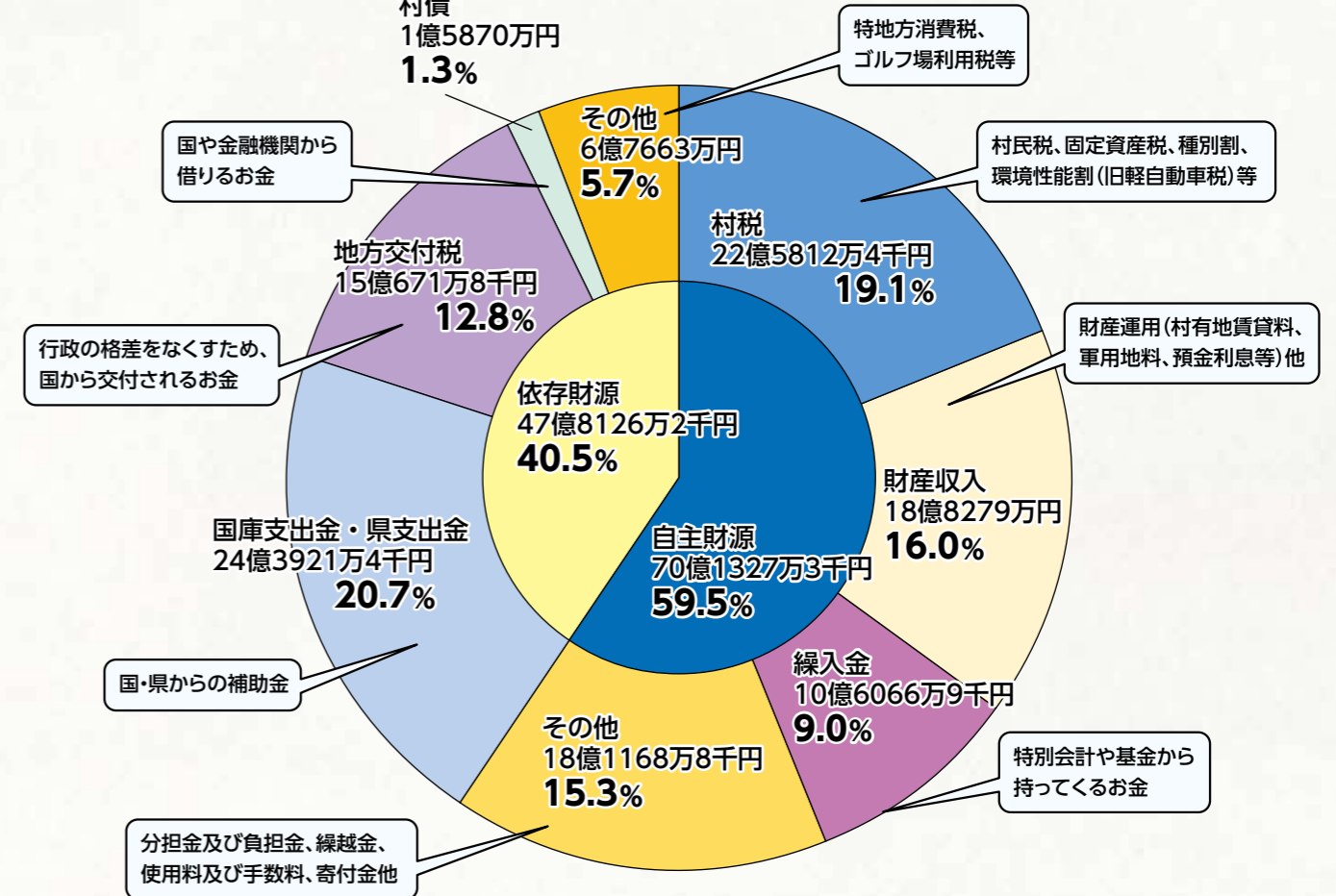
歳出総額：111億1369万1千円

歳入総額：117億9453万5千円

歳出内訳



歳入内訳



特別会計	歳入	歳出
国民健康保険	15億5836万6千円	15億1503万4千円
後期高齢者医療	1億1300万円	1億1210万2千円
下水道事業	10億3373万6千円	10億2580万2千円

水道事業会計	水道事業
収益的収入 6億6511万9千円	収益的支出 5億9730万9千円
資本的収入 3億548万4千円	資本的支出 5億3647万6千円

※不足分は過年度分損益勘定留保資金で補てん

歳出に関する委員会報告

- 質** 商工費、観光費、観光協会の委託料、自主事業などの収入、支出について
- 答** 収入は、約1億6,400万。内訳、委託料約1,800万、11%、補助金約4,500万、28%。自己財源約9,900万、61%うち借入金や、基金取り崩し金額約2,400万。収入に対して、支出全体が約1億4,812万6千円。委託料約13%約1,874万。補助金支出約4,584万5千円、約31%。自己財源支出約8,349万1千円、全体の約55%である。
- 質** 教育費、小学校費「小学校の照明に係る義務はなくなるが、それを暫時、老朽化や危険が伴う場合には、全部撤去するという理解でよいのか。
- 答** 今現在、危険な箇所については施設を撤去しているが、現在使用できる施設については、できる限り、修繕をして、使えるような環境に持っていく考えである。
- 質** 教育費に関連する恩納村在住高校生就学支援緊急助成金について
- 答** 令和2年度のみのものであり、今年度の予定はない。

成果説明書に関する委員会質疑

- 質** 歳入決算の状況、特別土地保有税について
- 答** 土地保有税については、平成15年地方税制改正により、新たな課税は行わないとされ、本村においても課税を停止している。

歳入に関する委員会報告

- 質** 使用料及び手数料、法定外公共物使用料 収入未済額97万700円について
- 答** ベルジャヤの開発用地があり、97万700円が使用料予定であったが、用地交換の際、測量費、用地交換に対する諸費用をベルジャヤ負担、村の下水道工事、道路工事など行う際、ベルジャヤの用地を残土置場として利用することになり法定外公共物使用料の免除となった。



された主な事業



令和3年度に実施

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業

新型コロナウイルスの影響で困難に直面した方々に対し生活・暮らしを支援を行う。1世帯につき10万円を給付

1億942万6千円



子供医療費助成

子供医療費助成事業：外来・入院の際の医療費を無償化。対象年齢0歳～高校卒業

2673万7千円



沖縄観光防災力強化事業

大規模災害時において、増加する外国観光客を含む観光避難民への提供備蓄品等を整備し、安全・安心な観光地形成を図る

984万4千円

恩納村ふるさとづくり応援寄附金業務

令和3年度寄附金：7億9952万5千円

恩納村の魅力や特産品のPR・販売促進を目的に、ふるさと納税をされた方へのお礼品を提供する

3億1514万6千円



《寄附金の使い道》
・自然景観の維持、再生及び地域振興に関する事業
・子育て支援及び健康づくりに関する事業

子育て世代に対する支援(児童手当)

子育て家庭世帯の生活の安定及び次世代を担う児童の健全な育成に資することを目的とする。

2億30万円



食の自立支援事業

一人暮らしの高齢者や高齢者世帯で調理が困難な方の居宅を訪問し栄養バランスの取れた食事を提供するとともに利用者の安否確認を行う

2393万9千円



SDGs「サンゴの村宣言」持続可能な地域づくり推進事業



まち・ひと・しごと創生法に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業を実施。環境・社会・経済の3側面における課題解決につなげ、持続可能な地域づくりを推進する。

3530万4千円

企業版ふるさと納税寄附金業務

《歳入実績》 13件
寄附金総額 290万円

290万円

《歳出実績》
中学生による地域産品づくり事業 120万円
恩納村結婚生活支援事業 20万円
うんな中学校タブレット端末購入事業 100万円
未来塾・地域塾支援事業 50万円



外出支援サービス委託料



一般の交通機関の利用が困難な在宅高齢者に対し、自宅と医療機関の送迎をし定期受診に係る負担を軽減する。

■利用実人数：67人 ■総利用件数：1869件

1245万4千円

健康増進・保険事業

がん検診の無料化及び個別検診の導入。胃・肺・大腸がん(19歳以上)・乳がん(30歳以上)・子宮頸がん(20歳以上)。

2412万8千円





された主な事業



令和3年度に実施

農業人材力強化総合支援事業

新規就農の農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間150万（夫婦型225万円）の給付を行う。

1012万5千円



うんな中学校SDGsパートナーシッププロジェクト委託料

うんな中学校3年生が地域課題解決に関わり、成功体験や地域活性化に貢献する喜びなど質の高い教育を提供する。この活動はSDGsの目標とする2030年まで継続する。

347万6千円



恩納村サンゴの村創生事業

サンゴの村宣言行動計画に基づき、恩納村内沿岸の自然環境の調査及び保全活動として、「海山の自然環境調査」及び「サンゴ移植作業等委託業務」を実施する。

794万7千円



学校給食業務(給食センター)

成長期にある園児・児童生徒の心身の健全な発達のため栄養バランスの取れた安心安全な食事を提供し健康増進を図る。地場産物を積極的に取り入れ地産地消等の食育指導を行う。

5149万9千円



赤土等流出防止営農対策促進事業

農地等からの赤土等流出防止対策の促進、持続的な赤土等流出防止体制の構築

1047万2千円



恩納村学校支援地域本部事業

学校の支援要望に基づき、地域や村内企業などのボランティア協力者を紹介し、地域全体で学校を支援する。

《支援内容》
学習支援6件・平和学習5件・SDGs関連学習2件・フィールドワーク7件・その他支援 2件 計22件 **74万円**



参考 ボランティア:OIST職員、農林水産課職員、博物館職員

新型コロナウイルス感染症対策関連の事業者支援事業



- ・中小事業者への支援事業
- ・景気回復支援商品券事業（村民給付）
- ・村内事業所家賃支援事業
- ・村内事業者応援一時支援金

1億2413万8千円

地域型就業意識向上支援事業

産学官関係者が連携し、児童生徒へのキャリア教育の実践。中長期的な就業意識の向上と人材育成、村内各産業の発展と地域活性化を図る。

1224万1千円



海岸漂着軽石の除去

令和3年8月に噴火した小笠原諸島海底火山の影響とみられる、村内海岸に漂着した軽石を海岸から除去した。

4845万6千円

